

読者のひろば

「荒尾二造」を  
未来に伝える

高谷和生<sup>58</sup>

市民グループ副代表

(玉名市)

4月初旬、当地荒尾では梨と桜の花のもと、恒例の「梨の花元氣ウオーク」が開催される。今年参加される方々は、大会会場に置かれた「荒尾二造ウオーキングマップ」を片手に、足元に広がる荒尾二造(東京第二陸軍造兵廠荒尾製造所)の戦争遺跡にも足をのびさせてはいかがだろうか。2年前の2011年1月、荒尾二造変電所跡他に競売看板が突如立てられた。このままでは荒尾

の近代化遺産が壊される  
との危機感から、元二造  
会の職員の方々と一緒に  
九州財務局や荒尾市に保  
存要望書を提出した。

その後、多くの市民の  
支援を得て運動が本格化  
し、通称「荒尾二造市民  
の会」が設立された。見  
学会や講演会、平和の証  
言リレー、ワークショップ  
等を開催し、この戦争  
遺跡に目を向けていただ  
いた。2500人を超す  
保存・買い取りの署名の  
もと、今回の荒尾市によ  
る変電所跡買い取り決定  
は、市民の方々の熱意が  
実ったものである。しか  
し、変電所跡の公開や利  
活用は未定、本廠を象徴  
する火薬庫跡2基(競売

保留)の買い取りにもい  
まだ至っていない。

荒尾二造は、荒尾市・  
熊本県が近代化へと進ん  
できた姿を如実に語る近  
代遺産であるとともに、  
加害と被害の歴史を伝え  
る戦争遺跡でもある。手  
つかずであった現存施設  
等の記録を残しながら、  
関係機関とともに荒尾の  
遺産を未来へ伝える活動  
を広げていきたい。

「読者のひろば」への一般投稿、若者コーナーは450字程度、主張・提言は600字程度。◇欄外に郵便番号、住所(アパート・マンション名も)、氏名、年齢、職業(無職の方は元職でも可)、電話番号を明記する◇趣旨を変えず文章を直すこともあります◇原稿は返却しません。二重投

投稿される方へ

稿、採否の理由等の問い合わせはお断りします。匿名は不採用。掲載分には薄謝を送ります。

- あて先は①郵送 〒860-8506、熊本市中央区世安町172、熊日「読者のひろば」係
- ②ファクス 096(363)1268
- ③Eメール

hiroba@kumanichi.co.jp